



京都市立西京極中学校 学校だより

校是 「自主と貢献」

令和4年度

12月

文責：東郷伸也

人権学習

12月10日は「世界人権デー」です。これは、1948年12月10日に、世界人権宣言が国連総会で採択されたことに始まります。世界人権宣言は、世界中の人の自由と尊厳を平等に守っていくための世界的ルールです。また最近よく耳にする「SDGs」でも、「貧困をなくそう」、「飢餓をゼロに」、「すべての人に健康と福祉を」、「質の高い教育をみんなに」、「ジェンダー平等を実現しよう」・・・など、私たちの人権に関わる項目がたくさんあげられています。

今年度の人権学習は、1年生は障がい者に関わる問題、2年生は在日外国人に関わる問題、3年生は同和問題を中心に身のまわりの問題について考えました。下の写真は、1年生が車いす、アイマスクの体験をしているようす、2年生が留学生の方々と交流をしているようすです。



生徒会認証式

11月10日、生徒会認証式が行われました。フレンドリールームで新生徒会役員に認証状が手渡されました。その様子は各クラスにもリモート配信され、各学級の委員のみなさんも拍手で認証されました。

そのあと、旧生徒会長から「仲間と共に活動できることは決してあたりまえではない、感謝の気持ちでこれからも頑張ってほしい」という激励がありました。旧本部役員のみなさんからもビデオメッセージがありました。感謝、時間、仲間、挨拶・・・など、大切につないでいってほしい言葉を添えてのメッセージは大変立派でした！

その日の放課後は、さっそく第1回目の評議専門委員会が開催されました。新役員のみなさんががんばれ！私たち教職員も一緒にがんばります。

12月行事予定

1	木	評議専門委員会
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	1年前半クラス科学センター学習
7	水	1年後半クラス科学センター学習
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	1年防煙教室
15	木	三者懇談
16	金	三者懇談
17	土	
18	日	
19	月	三者懇談
20	火	三者懇談
21	水	三者懇談
22	木	
23	金	終業式
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	学校閉鎖（1月3日まで）



がんばれ3年生、希望の進路をめざして

12月・2022年最後の月になりました。12月22日は冬至で、一年で最も昼の時間が短くなります。何かと慌ただしい12月ですが、この一年をしっかりと締めくくりたいものです。そのために、まずは「今年できたこと」と「できなかったこと」を整理し、それをもとにして「来年はどんな自分になりたいか」を考えてみるのが大切です。

【3年生のみなさんへ】

3年生はいよいよ進路選択の正念場を迎えます。応援しています！

- ① 体調を万全に整える・・・規則正しい生活をし、寝不足などで体調を崩さないように。入試本番で、本来の自分の力が発揮できますように。
- ② 最後の最後までがんばり切る・・・「最後まで」というのは、入試本番で最後の1秒まで努力するという意味もありますし、さらには、入試が終わっても（合格が決まっても）卒業式の日まで全力で頑張り切るという意味もあります。最後まで頑張れた自分自身のことを誇りに思い、自信をもって次のステップへと飛び出してほしいと願っています。



育成学級合同運動会

11月25日に島津アリーナで育成学級の合同運動会が開催されました。1組のみんなも元気に参加し、徒競走と玉入れに出場しました。他校のみなさんと一緒に少し緊張しながら招集場所に並ぶのも、貴重な体験となりました。

帰りのバスになかなか乗ることができず（・・・観光客が多くてバスが満員だったため）バス停で長い時間待ちましたが、その間もみんな楽しそうにおしゃべりに興じていました。



笑顔で聞くということ PTA近畿ブロック研究大会に参加して

11月8日、神戸で開催された日本PTA近畿ブロック研究大会に参加してきました。「人は話し方が9割」の著者である永松茂久さんの記念講演が心に残りました。講演の中で、広い会場に集まったたくさんの参加者が互いに隣の人とあるテーマで話し合うというワークショップがあったのですが、「聞く人は、笑顔で傾きながら聞く」というルールで行いました。すると・・・、笑顔で聞いてもらえるというのは、話している側からするととても心地のいいものだということを再認識しました。普段の学校や家庭で、子どもの話をこうしてしっかり受け止められているのかな・・・と気になりました。子どもたちが「自分は認めてもらっている、大切にしてもらっている」と感じながら自信をもって生活するためにも、まず大人がしっかり耳を傾けることが大切だなと思いました。

（令和5年度）【授業時数特例校制度】についてのお知らせ

来年度、本校では3年生のカリキュラムを一部変更し、文部科学省の『授業時数特例校』の申請をしよう計画をすすめています。『授業時数特例校』制度とは、学校や地域の実態に照らして、より効果的な学校教育を実施するため、教科ごとの授業時数を弾力的に編成することを認める特例制度で、特別の教育課程を編成して取り組むことができる制度です。本校では、学習の基盤となる資質・能力（言語能力、情報活用能力、課題解決力など）の育成を図ることを目的に、3年生を対象に「消費者教育」をひとつの切り口として学習をすすめていきます。

具体的には、社会科の公民的分野の「私たちと経済」の単元と、技術家庭科の家庭分野の「C 消費生活・環境」において、教科横断的な学習を計画しています。そのため、社会科の授業時数の一部（年間140時間のうち9時間程度）を家庭分野の授業に振り替えます。（言うまでもありませんが、そのことによって社会科の学力に影響が出ることがないようにカリキュラムを編成しています。）

本校の校是である「自立と貢献」を実現し、すべての生徒が近い将来ひとりの社会人として自立するのに必要な資質・能力を育てるため、全教職員で取り組んでまいります。学習のようすについては、随時学校ホームページや学校だよりでお知らせする予定です。ぜひご覧ください。